

[別添資料]

＝ 時に関する意識・実態調査 第10回『みんな大好物行列事情』 ＝

2011年9月7日(水)～2011年10月3日(月)にWEBマガジン「REAL SCALE」上でアンケートを実施

回答者＝全国の3,177人 男性：2,022人／女性：1,155人

20歳未満：71名／20歳代：487名／30歳代：885名／40歳代：874名／50歳代：594名／60歳以上：266名

[Q.1] 食べ物の行列に並んだ経験はありますか？

◎行列あるところにエピソード 救急車で運ばれたあの人は今？

食べ物のために、行列に並んだ経験の有無、『ある』との回答は全体では87.1%。9割近い方が並んだ経験をお持ちのようです。男女別では、男性が84.8%、女性は91.2%の方が『ある』と回答。やはり、男性より女性の方が、美味しいものは並んででも食べたいという方が多いようです。

多くの方が、身近に経験しているだけあり、エピソードも多数寄せられました。皆さん、おいしかった時よりも、美味しくなかった時の方が、強く印象に残っているようで、「せっかく並んだにも関わらず、おいしくなかった」という内容のコメントが最も多く寄せられました。他、多かったコメントには、「行列のルールや接客姿勢についての店側とのトラブル」や、「自分の番、目前で無念の売り切れ」等がありました。「違う行列に並んでいた」「トイレに行きたくなり困った、並ぶのを諦めた」等のコメントも多く寄せられました。

そして、中には驚きのエピソードも、「妊娠10カ月の時、ラーメンが食べたくて行列に並びました。40分近く並び、もうすぐ入れるかと思ったら、急に陣痛が・・・！！諦め病院にいそぎました(愛知県・女性)」なんと、臨月の大きなお腹を抱え列に並ばれた経験をお持ちの方もいらっしゃいました。また、「私の目の前に並んでいた女性が、陣痛をおこして救急車で運ばれていきました……。無事をお祈りいたしました但其後は不明です(神奈川県・男性)」という方もいらっしゃいましたが、まさか同じ列にお並びの方だったのでしょうか？行列を離脱した妊婦さんが、無事に出産されたことを祈らずにはられません。

〈 図1:食べ物行列経験の有無 / 全体・性別 (N=3,177) 〉



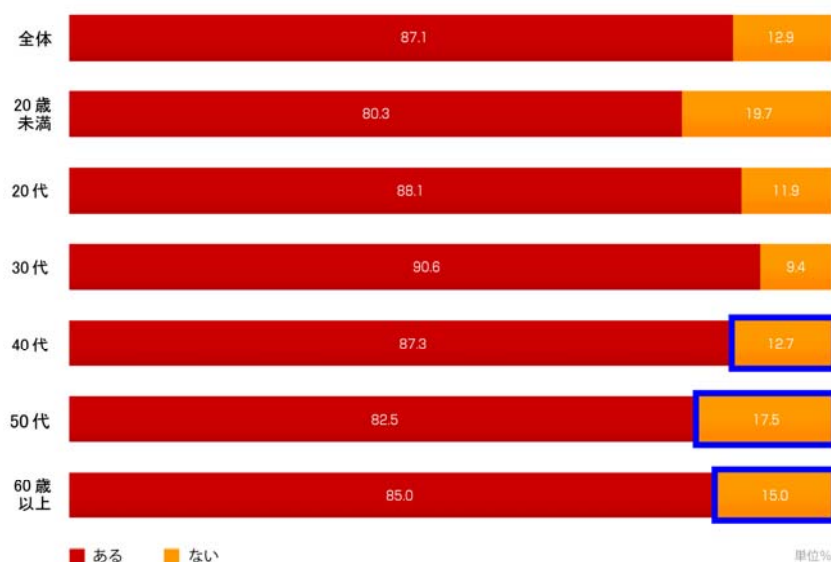
◎断固拒否！40代以上の並ばない理由は・・・

食べ物のために、行列に並んだ経験の有無、世代別の比較。誰でも一度や二度は、食べ物の行列に並んだ経験があり、世代が上がる程に、経験率は増えると思われましたが、意外な結果に。20歳未満から世代が上がる毎に経験率は増え、30代では全体で最も多い90.6%に。40代、50代と経験率は減少し、60歳以上で微増という結果になりました。どうやら、40代を境界に事情が異なってくるようです。

40代以上で、『ない』と回答された方には、食べ物の為に並ぶことに、強く抵抗を感じる方もいらっしゃるようです。「食べ物では絶対並ばない！（奈良県・男性）」「並んでまで外食などするものではない、というのが私の考えです。まあ、みっともない、というか（東京都・男性）」「食べ物の行列程ばからしいことはない。人が並んでいるからと言って、自分が食べた時、本当においしいと感じることがない（山梨県・男性）」「基本的にお客を並ばせて待たせるような店には、いくら美味しくても、いくら人気があっても入らない（大阪府・男性）」等のコメントが寄せられました。

寄せられたコメントから察すると、食べ物のために並ぶことに関しては、抵抗がある40代以上と、抵抗が少ない30代以下という図式が見えてきそうです。

〈 図 2:食べ物行列経験の有無 / 全体・年齢 (N=3,177) 〉



〔Q.2〕 食べ物の行列で、最も長く並んだ時間を教えてください。

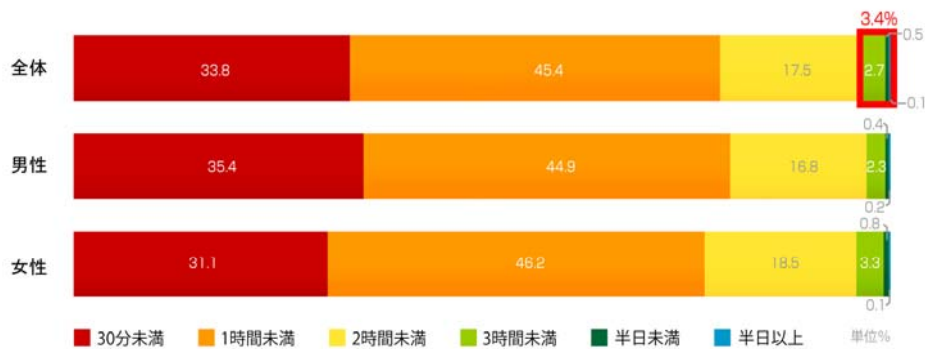
◎覚悟の上?!それとも成り行き? 3時間未満~半日以上は極少数派

食べ物の行列で、最も長く並んだ時間、全体では1時間未満が最も多い45.4%、次いで、30分未満の33.8%。男女による差はあまりなく、女性の方が、若干長時間傾向にあるという程度です。

『3時間未満』『半日未満』『半日以上』と回答した、かなりの長時間並んだ経験をお持ちの方は、全体で、3.4%と極少数派でした。寄せられたコメントでは、「行列の出来るラーメン屋に朝4時に行って一番最初にラーメンを食べた事(静岡県・男性)」「かれこれ10年通い続けている大好きなラーメン屋さんの限定ラーメンに並びました。朝から女の子が一人並ぶのは恥ずかしかったですが、美味しかったので、満足でした(東京都・女性)」等、長時間並ぶことへの覚悟と、目的を達成した充実感が感じられます。

一方では、「お正月、開いているお店も少ないので、2時間待ちと言われた列に並んだら、とんでもない!3時間待ちました。それに加え、4人席に6人座ることになり、疲れたの一言(埼玉県・女性)」「某ミュージアムでアンパンを購入するため、2時間30分並んだ。はじめは、1時間くらいのつもりだったが、疲れた(福井県・男性)」等、凶らずも長時間並ぶことになってしまったという方もいるようです。

〈図3:食べ物行列の最長時間 / 全体・性別 (N=2,767 行列経験者のみ集計)〉



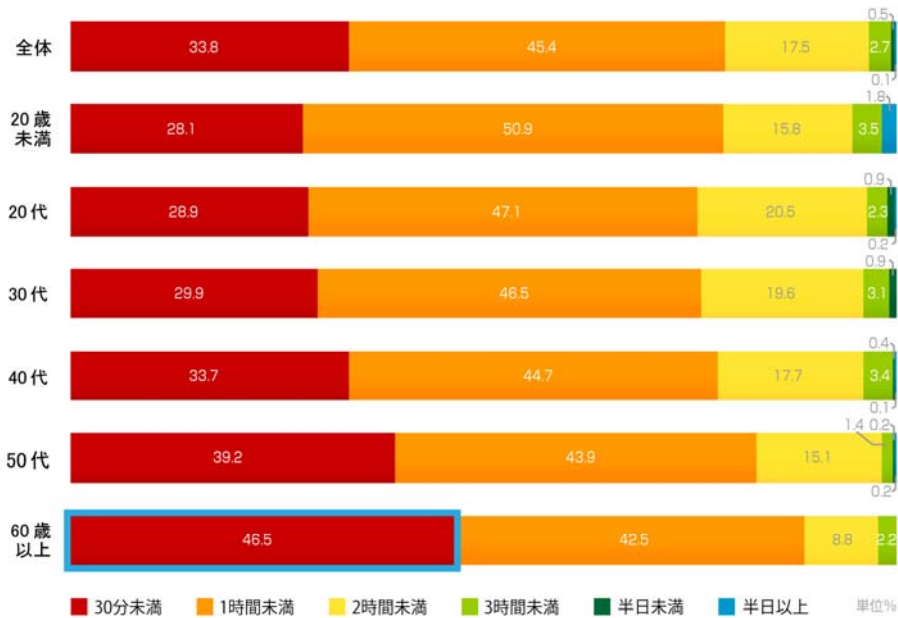
★待ち時間が分岐点！60歳以上の約半数、30分以上は待つ価値が無いと判断？！

食べ物の行列で、最も長く並んだ時間、世代別の比較。『30分未満』の短時間の回答に注目すると、20歳未満の28.1%から、世代が上がるに従って割合を増し、60歳以上で最も多く46.5%。60歳以上の方は、並んでも30分未満という方が約半数近を占めています。

食事以外にも、趣味や遊び仕事等で、忙しく時間を使っていそうな若い世代が、比較的長時間並ぶ傾向にあるのに対し、比較的時間にゆとりがあると思われる60歳以上が、食べ物の行列ではあまり待てないというのは、意外な結果ではあります。

60歳以上の方からは、「並ぶのは好きではないので、30分以上は待てない（東京都・男性）」「30分以上だったらすぐにあきらめる。入ってから10分経っても出てこなければ催促する（神奈川県・男性）」「原則的には並びません。30分ならと思い一度だけ並びました。時間のムダかな、と複雑でしたね（東京都・男性）」等のコメントが多く寄せられました。食べ物・外食ということに対しては、世代による価値観の違いも、待ち時間の長短に現れていると言えそうです。

〈図4:食べ物行列の最長時間 / 全体・年齢 (N=2,767 行列経験者のみ集計)〉



[Q.3] 食べ物の行列には誰と並ぶことが多いですか？

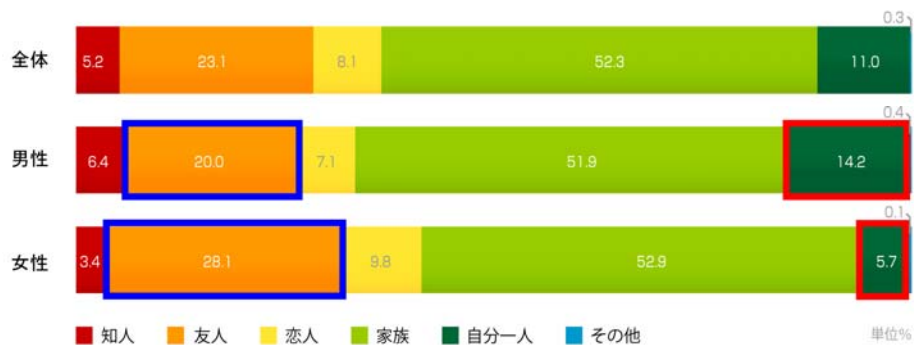
★女性にかかれれば行列も社交場！男女で異なる行列スタイル

食べ物の行列には誰と並ぶことが多いか、全体では『家族』が最も多い 52.3%、長い待ち時間も家族となら気兼ねなく過ごすことができるという旨のコメントが多く寄せられました。次いで多いのが、『友人』の 23.1%。待ち時間も気のおけない友人となら短く感じるという方も多くいらっしゃいました。「友達同士で並ぶのは、ワイワイおしゃべりしながらあつという間に時間も過ぎてしまう（京都府・女性）」「友達と並んでいると近況報告をしたりしている間にあつという間に順番が来るので、久しぶりに会う友達と過ごすにはぴったりです（大阪府・女性）」「“こんなの並ぶのあほらしいよねー”と友人としゃべりながら並んでいたが、並んでいる間のおしゃべりが楽しくてあつという間だった。行列も一緒にいる相手次第では楽しめる！（東京都・女性）」等、特に、女性の方から、待ち時間もおしゃべりをしていてあつという間という内容のコメントが多く寄せられました。

『自分一人』との回答に関しては、女性の 5.7%に対して、男性は 14.2%と、男女の差が顕著に表れる結果となりました。男性の方からは、「行列に並んでも食べたいものは、じぶん 1 人で食べに行くようにしています。恋人や友人と行っても、熱意に差がある場合に気まずいので（東京都・男性）」等のコメントも寄せられました。

行列の待ち時間を、誰にも気兼ねすることなく過ごしたい男性と、おしゃべり等をして楽しみながら過ごしたい女性像が見えてきます。

〈図 5: 食べ物行列同伴者 / 全体・性別 (N=2,767 行列経験者のみ集計)〉

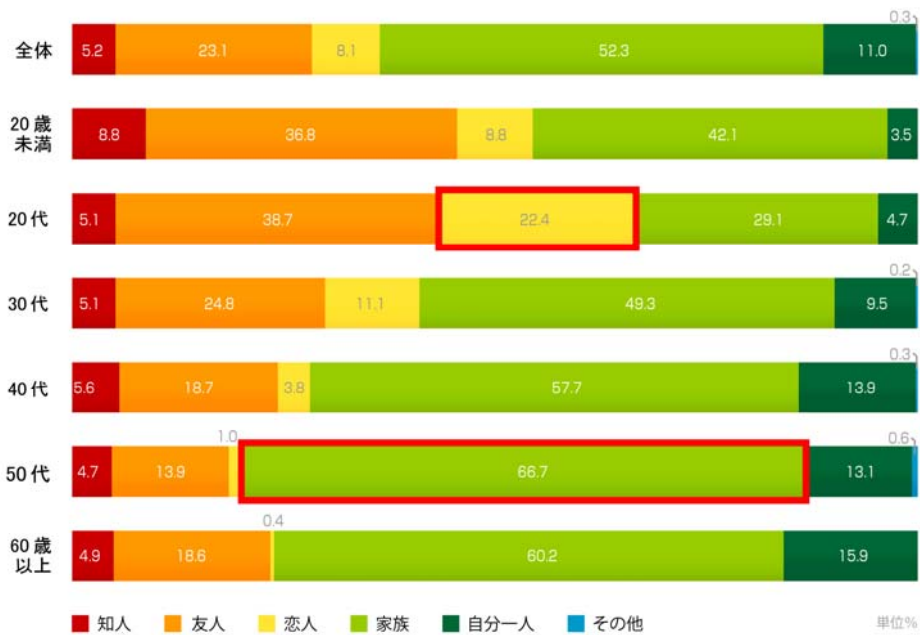


★行列で、愛を育む 20 代、家族と繋がる 50 代

食べ物の行列には誰と並ぶことが多いか、世代別での比較。20代は他の世代に比べ、『友人』『恋人』と並ぶことが多いようで、特に、『恋人』については、2番目に多い20歳未満の8.8%に大きく差をつけ、22.4%という結果に。「初デートで人気店に行ったとき。すごい行列が・・・、喋ることしかすることがなかったので、お互い緊張していたけど少し打ち解けることができました（大阪府・女性）」「恋人と、有名遊園地で食べ物を買う為並んでいる時間がいつも思い出として残ります。アトラクションに乗っている時とは別の二人だけの空間が持てて楽しかったからだと思います（東京都・女性）」等、行列中に愛を育んでいる様子が窺えます。

一方で、『家族』との回答が最も多かったのが50代。寄せられたコメントでは、「家族の会話が、自宅より少しだけ多くなる様な気がする（石川県・男性）」等があり、確かに、行列という普段とは少し違う空間には、会話のきっかけが多そうです。他、「家族と有名なお鮓屋さんに並んで、食べ始めたとたん緊急呼び出しで仕事に出動することに、私だけ元がとれなかった。仕事だから、文句は言えませんのであきらめました。家族は、私の分も食べてお腹が苦しくてたまらないなどと・・・うらやましい（埼玉県・男性）」等、どうしても仕事優先となってしまう現役世代である50代ならではのエピソードも寄せられました。何かと忙しい50代にとっては、食べ物の行列も、家族とのコミュニケーションの場のひとつであるということが分かります。

〈図 6: 食べ物行列同伴者 / 全体・性別 (N=2,767 行列経験者のみ集計)〉



以上